

## ヤマブドウの県オリジナル品種が誕生！

— 高品質果汁品種「涼実紫<sup>すずみむらさき</sup>1号」，多収性品種「涼実紫<sup>すずみむらさき</sup>2号」 —

### 1 研究のねらい

本県に栽培適性のあるヤマブドウ優良品種を育成するため、これまで多収性4系統と高品質果汁1系統を選抜した。そこで、選抜系統の品種特性及び区別性を明らかにし、農林水産省に品種登録の申請を行う。

### 2 研究方法と結果

調査対象は、林業技術センター矢巾試験地に植栽している選抜2系統で、高品質果汁系統の「江刺」と多収性系統の「川井4」とした。この2系統について、葉、果実、枝等の各特性を調査した。

その結果、「江刺」は果汁糖度が高い、果汁酸度が低い、穂梗が紅い等の品種特性が明らかになった。「川井4」は樹勢が強い、果房着粒密度が高い、葉が大きい等の品種特性が明らかになった。

区別性が認められたこれら2系統については、高品質果汁系統の「江刺」を「涼実紫<sup>すずみむらさき</sup>1号」、多収性系統の「川井4」を「涼実紫<sup>すずみむらさき</sup>2号」と命名し、農林水産省に品種登録申請した。なお、ヤマブドウの品種登録事例はないため、日本では初めての登録品種となる。

### 3 成果の活用

平成12年度から「ヤマブドウ現地適応化栽培試験」を実施し、育成した県オリジナル品種の県内各地における栽培適性の実証を行う予定である。

今後は、他の多収性系統についても特性調査を行い、順次品種登録申請を行う予定である。



写真 涼実紫1号の穂梗  
(穂梗が紅く果汁糖度が高いのが特徴)



写真 涼実紫2号の成葉  
(葉が大きく結実量が多いのが特徴)

表 「涼実紫1号」と「涼実紫2号」の主な品種特性

品種名	収量	着粒密度	果房形	葉の大きさ	穂梗色	糖度
涼実紫1号	中	粗	円筒	大	紅	高
涼実紫2号	多	中～密	有岐円筒	極大	淡紅	中

(担当 特用林産部 専門研究員 泉 憲裕)

連絡先 028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水560-11 TEL 019-697-1536  
岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410  
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>